

G講座 小坂キャンパス「小坂町なう」		主会場：小坂町交流センター・セパーム 〒017-0201 小坂町小坂字砂森7-1 ※G1・G2会場：旧十和田小中学校 〒018-5511 小坂町十和田湖字大川岱83-1		
地域の発展を探りながら、現在の小坂町の魅力を存分に味わっていただく講座です。				
【定員 40名程度】 G5+6移動学習はバス定員により、全受講お申し込みの方を優先して25名で締め切ります。 ※G1・G2講座は、現地集合とセパーム発着のバス送迎を選択できます。バス送迎は25名までです。				
8月31日 (土) ※別会場	G-1	10:15～11:45	霊山十和田と十和田参詣道 ～真澄も歩いた、今もなお残る小坂口～	弘前大学教育学部 教授 齊藤利男氏
	G-2	13:00～14:30	【移動学習】十和田湖畔そぞろ歩き	現地ガイドのみなさん
9月28日 (土)	G-3	10:00～11:30	バイオマス資源を活かしたまちづくり ～菜の花・堆肥・道の駅～	秋田県立大学生物資源科学部 助教 渡部岳陽氏
	G-4	13:00～14:30	菜々の油を活かした調理の実際 ～学ぶ・作る・食べる～	小坂高校家庭科クラブのみなさん
10月26日 (土)	G-5 + G-6	10:00～16:00	【バス移動学習】小坂町なう ～小坂の今、いいところ巡り～ ・小坂精錬株式会社・小坂のグルメ・小坂駅・あきたエコタウンセンター など	小坂町産業観光課観光商工班 班長 亀沢 修氏

「北東北の中心で」をキーワードに構成した地域キャンパスです。小坂・十和田の地域の魅力を再発見する講座内容となりました。ここでは、第1回と第2回の講座の様子について報告します。

8月31日（土）に、小坂キャンパス「小坂町なう」が旧十和田小中学校を会場にスタートしました（主会場は小坂町交流センター・セパームでした）。

午前には弘前大学教育学部の齊藤利男教授を講師に「霊山十和田と十和田参詣道～真澄も歩いた、今もなお残る小坂口～」というテーマで講座が行われました。その中で齊藤教授は『十和田湖伝説』から八郎太郎と南祖坊の戦い、菅江真澄『十曲湖』を紹介しながら十和田湖の歴史についてわかりやすく説明されました。齊藤教授が用意した資料は実に豊富で、見ていただけでも当時の歴史に思いを馳せることができました。十和田湖周辺の地図をもとに、近世の十和田参詣道について詳しくお話しになりました。

午後は、十和田自然教室の工藤公光氏を講師に「十和田湖畔そぞろ歩き」と題して、バス移動学習が行われました。

午前の講座を検証する形で、十和田参詣道や十和田神社を巡りました。あいにくの雨となりましたが、青森県側の休屋から十和田神社、そして高村光太郎が作成した乙女の像などを見学しました。ある受講者は「子どものころは十和田神社の占い場につながる鉄バシゴを渡って奥まで遊びに行ったものだ」と昔を思い出しながらしみじみと話していました。ほかには「十和田湖が修行の場であったことを初めて知り、大変勉強になった」といった感想が寄せられました。



旧十和田小中学校で講義する齊藤教授



十和田神社の参道を案内する工藤氏（中央左）



十和田湖の霊場・十和田神社